

イージースルー 補足取扱説明書

本書は、「イージースルー機構を装着した車いす(以下、イージースルーといいます)」の補足取扱説明書になります。

ご使用前に本書と、車いすの取扱説明書を必ずお読みになり、十分に理解したうえでお使いください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

はじめにご確認ください

イージースルーは、あらかじめ車いすに装着された製品と、後付けできるオプションパーツがあります。
オプションパーツ(MS-0036 オプションイージースルー)を購入された場合は、お使いになる車いすの部品交換が必要です。
付属の交換・組付手順書をお読みになり、交換のうえ使用してください。

この製品について

イージースルーは、車いすの正しいご使用を前提とした安全補助装置です。
歩道と車道の段差や踏切、悪路、スロープなどを通過するとき、車いすのレッグサポートフレームに取り付けられた前方の補助輪によって車いすの転倒や段差のつまづきを抑制し、走行を補助するための装置です。
すべての段差や溝を越えられるものではありません。

安全上のご注意

⚠危険



乗り降りの際にはフットサポートに足を乗せたまま立ち上がらないでください。補助輪が地面に接地したとき車いすが予期せぬ動きして、事故やけがにつながる恐れがあります。



階段の上り下りには使用しないでください。



通常は、必ず転倒防止が機能するように取り付け使用してください。
後方へ転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

警告

 補助輪だけを外して使用しないでください。
製品本来の機能を発揮できなくなります。

 補助輪に破損や変形がみられた場合。または異常な音や振動が発生したら、即時に使用を中止してください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

 段差や踏切など凹凸や溝のある路面、スロープの通過時は、安全な速度で通過してください。

 移動の際、特に段差や踏切など凹凸や溝のある路面、スロープの通過時は、介助者を伴ってください。

 乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。
ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。駐車用ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。

【スイングアウト仕様の場合】

 フット・レッグサポートは指定された機種以外に付け替えないでください。

 フット・レッグサポートを閉じた後は、必ずフックで固定されたことを確認してください。
事故やけがにつながる恐れがあります。

 フット・レッグサポートを片側だけ、もしくは両側を外した状態で使用しないでください。
製品本来の機能が発揮できなくなり、車いすが転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

イージースルーのつかいかた

△注意

- ・自走型であっても、自力での走行が困難な場合は、介助者を伴ってください。
- ・必ず転倒防止が機能するように取り付けて使用してください。
- ・本製品で使用できる段差や溝、スロープの条件につきましては、裏表紙「本製品でこえられる条件」をご覧ください。

● 段差をこえるとき／溝を通過するとき

- ・段差や溝に向かって車いすを進め、通過します。

● スロープを通過するとき

- ・スロープをのぼるとき
スロープに対して直角に車いすを進め、左右の補助輪が同時に当たるのを確認しながらスロープをのぼります。
- ・スロープをおりるとき
スロープに対して直角に車いすが進むように、スロープをくだります。
介助者が後ろ向きになっておりてください。

△注意

折りたたみ式のスロープを使用して坂を上り下りする際は、スロープの取扱説明書に記載されている傾斜角を守ってください。

フット・レッグサポートの開閉・取り外し(スイングアウト仕様)

⚠警告

・フット・レッグサポートを開いた状態ならびに、片側だけ、もしくは両側を外した状態で使用しないでください。製品本来の機能が発揮できなくなり、車いすが転倒して、事故やけがにつながる恐れがあります。

● 開きかた

回転レバーを矢印の方向に引き、そのままフット・レッグサポートを外側に回転させて開きます。

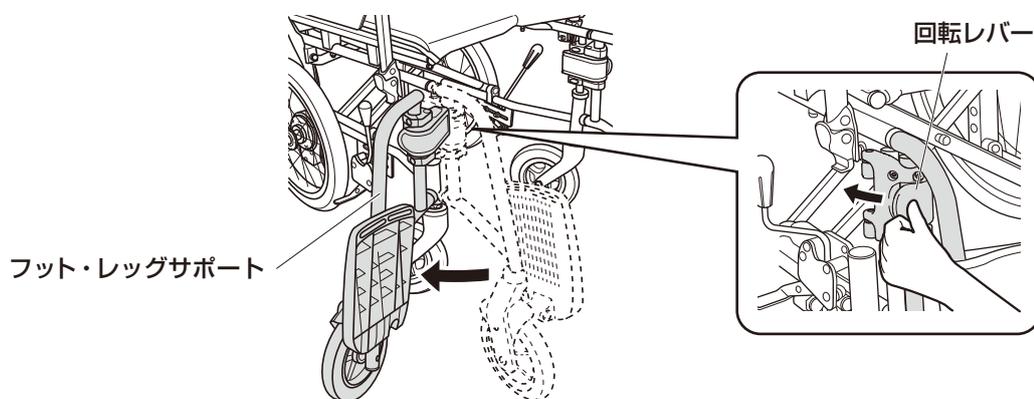
● 閉じかた

⚠注意

フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。

閉じた後、フット・レッグサポートが完全にロックされたことを確認します。

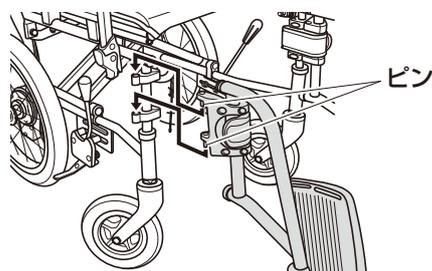


● 取り外しかた

フット・レッグサポートを外側に開いた状態で、垂直に引き上げます。

● 取り付けかた

1 車体フレーム側の回転軸穴にフット・レッグサポート側のピンを合わせて垂直に上からはめ込みます。



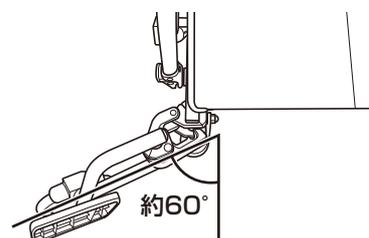
2 フット・レッグサポートを内側に回転させて閉じます。閉じた後、フット・レッグサポートが完全にロックされたことを確認します。

* フット・レッグサポートを閉じるときに、指をはさまないように注意してください。

* フット・レッグサポートを開いた状態で、フット・レッグサポートに力を加えないでください。金具が変形し故障の原因となります。

⚠注意

イージースルーの構造上、フット・レッグサポートのスイングアウト開閉角は約60度までとなっています。移乗等でベッドなどに近づく際は注意してください。



転倒防止装置の取り付け・取り外し

転倒防止装置は機種によって「ロックボタン式」「ノブボルト式」があります。それぞれの方式をご確認のうえ、使用してください。

△注意 操作は、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてから行ってください。

● 取り付けかた

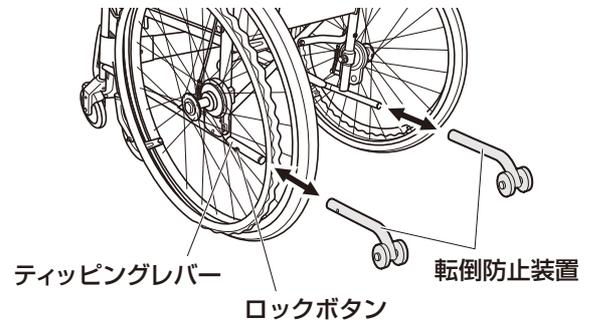
・ロックボタン式

転倒防止装置(2本)を、図の向きにしてティッピングレバーに差し込み、ロックボタンが穴から出ていることを確認してください。

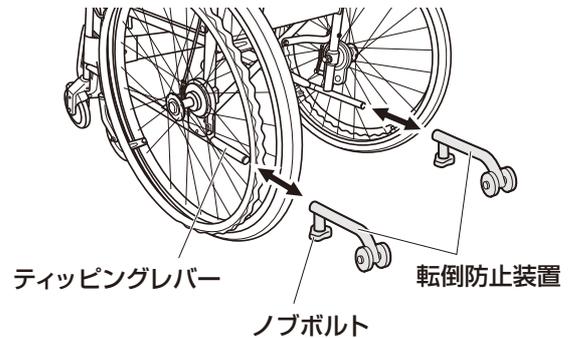
・ノブボルト式

転倒防止装置(2本)を、図の向きにしてティッピングレバーに差し込み、ノブボルトで締め付けて固定してください。

・ロックボタン式



・ノブボルト式



● 取り外しかた

・ロックボタン式

ロックボタンを押した状態で、転倒防止装置を引き抜いてください。

・ノブボルト式

ノブボルトをゆるめ、転倒防止装置をティッピングレバーから引き抜いてください。

● 転倒防止装置の向きの変更(ロックボタン式のみ)

ロックボタンを押した状態で、転倒防止装置を横に180度回転させてください。ロックボタンから穴が出ていることを確認してください。

本製品でこえられる条件

- ・本書に示した条件はあくまで目安です。実際の路面状況を確認のうえ、無理をせずに安全な速度で通行してください。
- ・すべての段差や溝を越えられるものではありません。

場面	段差の高さ	段差の長さ	溝の長さ	スロープの角度
走行可能範囲	角部分が10R以上 段差50mm以下	角部分が10R以上 長さ250mm以下 段差50mm以下	長さ250mm以下	18°以下

車いすの廃棄については、最寄りの行政担当窓口におたずねください。

製造元

Wheel Chair
Miki
株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号

1904-001